

PIP

Pocket International Preschool

ご説明

English Pocket

お子さまに望んでいることは？

A

外国人講師の言っている
ことが理解できる

B

自分の言葉として
英語を自由に話す
(日本語と同じレベル)

お子さまの英語教育において、どのレベルを目指すのかを保護者がしっかりと考え、決定し、目標に向けて迷わず進む事が大切です。

B 自分の言葉として英語を自由に話す（日本語と同じレベル）

ネイティブレベルの英語力を手に入れるには

1. 週に8時間以上、1年半の英語の環境が必要です。
2. ネイティブ講師とのインタラクティブな（相互に作用する）環境が必要です。
3. プロの講師による優れたカリキュラムと熟練したティーチングスキルが必要です。
4. 体験や遊びを通じて、自然に英語を習得する環境が必要です。
5. しっかりしたサポートシステムが必要です。
（学習アドバイス、保護者への説明、DVD、リーディングバスケット等）

自分の言葉として英語を自由に話すまでにかかる時間

週2回	週3回	週4回	週5回
8時間/週	12時間/週	16時間/週	20時間/週
1年半	1年	33週 (約8ヶ月)	26週 (約6ヶ月)
528時間			

週に8時間以上の英語環境を確保できるのは小学校入学前のこの時期だけです。小学校入学までに完全なバイリンガルに育て、小学校入学後は日本語による教育+英語力の維持に移行するのが最も効率よく、楽にバイリンガルを育てる方法だと思っています。

4スキルの習得までの過程

PIP 1年目	PIP 2年目	PIP 3年目	PIP 4年目
2~3歳	年少 3~4歳児	年中 4~5歳児	年長 5~6歳児
Listening	Listening	Listening	Listening
	Speaking	Speaking	Speaking
		Reading	Reading
			Writing

耳から覚えた英語は、使わなくなるとすぐに忘れてしまいます。それを忘れないよう長期に渡って維持できるもの、それが Reading/Writing の力です。

話せるようになるだけでなく、読んで書けるようになるプラスアルファの英語力を自然に身につけられるのがPIPの特徴です。

PIP年齢別保育目標 及び 言語学習の目標

英語圏の子ども達が学ぶ内容を日本にいながら同じ年齢で学ぶことが、私達のカリキュラム作りのコンセプトです。実績あるフォニックス&リーディングのカリキュラムで小学校入学前には4技能すべてがネイティブレベルに到達しています。

PIP 1年目 2～3歳

■英語の環境に慣れ、体験を通じて新しいものへの興味を育てる

- ▶ママと離れて、同年代のお友達と過ごす
- ▶生活に必要な身の回りのことを自分でやってみる
- ▶座って静かに先生のお話を聞く
- ▶英語の歌・ダンスを全身で楽しむ

- ◆100%英語の環境の中、先生の英語を聞き、理解する
- ◆先生の話す英語の1部を繰り返す（単語のみ、1語文、2語文）
- ◆先生の読む英語の絵本を楽しみ、内容を理解する
- ◆遊びや歌を通じてアルファベットに触れる

PIP 2年目 3～4歳

■お友達や身近なものに広く関わり、社会性を育てる

- ▶お友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- ▶さまざまな体験の中で、自分の気持ちを表現する
- ▶物作り・歌・ダンスなど自分を表現することを楽しむ
- ▶順番を待つ、ゆずるなど集団のルールを守ることを学ぶ

- ◆先生の指示や絵本の読み聞かせを聞き、理解する
- ◆身の回りの出来事や自分の感情について2つ以上の単語、もしくは短い文で表現する
- ◆遊びや歌・カード・ワークブックを通じてアルファベットの大文字、小文字を学習する
- ◆歌やダンスでフォニックスの正しい音を身体で覚える

PIP 3年目
4～5歳

■お友達と協力し仲間意識を持ち、協調性を養う

- ▶ 様々なことに興味を持ち、新しいことに挑戦する
- ▶ 物事に対して自分なりに考えたり試したり、工夫して取り組む
- ▶ マナーやルールを正しく認識し、尊重する
- ▶ 物作り、ダンス、Show & Tellなどを通じて自分を上手に表現する

- ◆ 様々なテーマの話題についてセンテンスで表現し、友達や先生とコミュニケーションする
- ◆ Basic Phonics、Sight Words 100の終了、3~4 letter words (78単語)、短い文章を読む
- ◆ 3 part sentenceを書く
- ◆ 簡単な物語を聞き、それを自分の言葉で言い直すことができる。(Focused listening)

PIP 4年目
5～6歳

■目的に向かって工夫をし、主体的に行動する姿勢を養う

- ▶ 集団の中で調和を取りながら自分をしっかりと表現する
- ▶ 最後までやり遂げる力を養い、達成感を体感する
- ▶ 集団の中での自分の役割を見つけ、積極的に行動する
- ▶ Show & Tell、スピーチ、Story Tellingなど、見る側に分かりやすい工夫をする

- ◆ 物語を読み(聞き)、内容を自分の言葉で表現する、また、意見を言う
- ◆ Advanced Phonics、Sight Words 300を終了し、音読の流暢さを高める
- ◆ 順序よく話す、順序よく書くことの重要性を理解する(Sequenced Story)
- ◆ 簡単な物語を書く(文法には完璧を求めず、意味に重点を置き、筋の通った話を書く)

PIP卒業生のクラス例

月	火	木	金	土
4:00~4:50	4:10~5:00	4:00~4:50	3:40~4:30	10:00~10:50
Science	Social Studies	Science	Fun Activity	Social Studies
4:55~5:45	5:05~5:55	4:55~5:45	4:35~5:25	10:55~11:45
Reading	Writing	Language Arts	Writing	Reading

PIP卒業生と帰国生のための小1 特別クラスを1日2コマ、週5日開催しています。週2日（4コマ）以上のレッスンを受講することで、ネイティブレベルの英語力を維持できるだけでなく、教科の学習を通じて知識を広げ、驚くほどの成果をあげています。定期的に保護者の皆様をお招きした学習発表会を開催し、プレゼンテーションを行っています。

PIPで身につけたネイティブレベルの英語力を確実に維持・発展するためのプログラムが整っているのもEnglish Pocketの特徴です。

FAQ

1. 日本の幼稚園に行かないで小学校に入学するのは何となく心配ですが．．．

PIPでは、日本の幼稚園が日本語で行う学習と同等かそれ以上の内容を英語のみで行っています。日本の幼稚園に行かないで日本の小学校に入学すると、子どもが困るのではないかと心配されるお母さんがいらっしゃいますが、心配される必要はありません。PIPでは単に英語で保育を行っているだけではなく、幼児期に育てる必要のある、社会性、自主性、責任感の育成はもちろんのこと、日本固有の文化や季節の行事やピアノ等の楽器の練習も積極的に学習に取り入れています。

子どもたちは柔軟性の塊です。インターナショナルプリスクールから日本の小学校に進み、多少の戸惑いがあったっても、1週間もすれば新しい環境になじみます。その環境への適応力は大人がびっくりするくらいです。逆に、あまりにも日本語に慣れすぎてしまい、英語を忘れてしまうのではないかと心配されるお母さんがいるほどです。

2. PIP と日本の幼稚園との違いはなんですか？

大きな特徴は4つです。1. 英語力、2. 考える力、3. 表現する力、4. 責任感です。

PIPを卒園するころには子ども達の英語力はネイティブレベルです。リスニング力、スピーキング力だけでなく、リーディング力、ライティング力も含めた4技能すべてが同年代のネイティブレベル、またはそれ以上の力が付いています。子ども達にとっては楽しく遊んでいるうちに完全バイリンガルになるという理想的な英語習得だと言えます。またPIPでは、学びの過程で子ども達自身に考えさせる習慣をつけさせています。何でもこちらから教えてしまうのではなく、まずは子ども達が推測する機会を大切に、考える力を養っています。もうひとつは表現する力の育成です。Show&Tell、Story Tellingなどを通じて人前でもしっかりと自分を表現する力を養います。また、係などを通じて自分の役割を認識し、責任を果たす事も学んでいます。

3. しつけ面はどうなのでしょう？

PIPもしつけは大切にしています。英語圏はマナーを重視します。先生やお友達の話を静かに聞く、順番を守る、謝る、お礼を言う、コンプリメントを言う（ほめる）、人の多い場所では大声を出さない・・・など、マナーを教えるのは日本の幼稚園以上だと思います。

4. PIPの先生達はどんな先生ですか？

PIPの講師はすべてネイティブ。幼児英語のプロばかりです。自国で幼稚園や小学校の先生をしていた講師も多くいます。幼児を教えた経験が5年以上ある経験豊富な講師のみを採用しています。10年以上幼児に英語を教えているプロ中のプロの講師もPIPには5名もいます。幼児教育に情熱を持ち、良いレッスンをするための努力を惜しまない素晴らしい講師ばかりです。